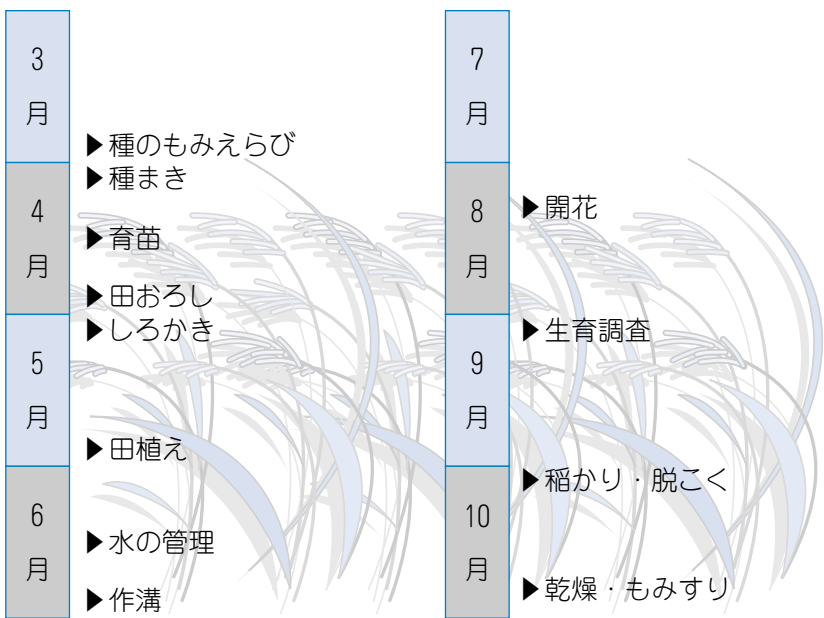


《 稲作りの流れ 》



※全国の標準的な流れです。(伊奈町は1か月ほど遅れています)



6月15日、小室小学校の5年生が農業体験教室として、伊奈町農業経営者連絡協議会会員による指導のもと、田植えを行いました。
この日はとても暑い日でしたが、生徒たちは暑さにも負けず元気に、楽しく田植えの体験ができたようです。
初めは慣れない手つきでしたが、一束ずついねいに苗を植え有意义的な時間となったようです。



稲 田植えをして、最初に入るときは、気持ち悪いなど思いました。水がほとんど入っていない気がして、土も熱くて、育つのかなと思っていただけ、そのうち土の下が冷たくなって気持ちよくなりました。いねは、わりとかんたんにスポッと入りました。お



増田 愛実さん

稲 田植えをして



から3、4本とつてすぐ植えるということができるようになってきました。何もなかった田にいねをいっばい植えられたのでよかったです。早くいねが生長しておいしいもち米になってほしいと思います。

僕は、6月15日に田植えをしました。
田では、自分の組が一番最後に田植えをするので、他の組の田植えの様子を見ていたら、とても大変そうだったので、きれいに植えられるか心配でした。
自分の組の順番になったので田植えを始めると、泥はぬかるんでいて動きにくく、腰を曲げながらの作業は辛くて大変でした。でも、思い出に残るいい体験だったと思います。



井門 拓真さん

稲 思い出に残った田植え

あれだねもありましたが、きちんとまっすぐ植えられなかった。おくの方に行くとき足がうまって動けなくなりそうでした。
あがつて、手足をあらいました。冷たい水で、気持ちよかったです。またやりたいなと思いました。いねかりのときも、がんばりたいです。私の家から田んぼは近いので、見えます。よく育つといいです。



私は、6月に田植えの体験をしました。
あまり田にくわしくなかった私は、とても緊張しました。泥の中に入るのも、小さいときぐらいだったからです。いざやってみると、とても難しく、なかなかうまくいきませんでした。けれど、だんだんと慣れてきて、自信がつくようになってきました。植え終わると、とてもきれいに植えられました。私は、とてもうれしかったです。



木蘭 加奈さん

稲 田植えの体験

また、この田植えを通して、今は機械でなにかもやるけれど、昔の人たちの大変さが分かったので、食べ物をもっと大切にしていきたいと思えます。

参加者の声

稲 田植えをやるう



田中 輝さん

4月には、何もなかったけれど、今日いねを植えたので、周りの田んぼと同じようになりました。
いねを植えるのは、大変だなと思いました。けれどそれを毎年やっている人たちはすごいと思いました。
農家の人たちからいろいろなことを教えていただいたおかげで、田植えのことがよく分りました。初めての田植えでしたが、少しずつうまくできてよかったです。

稲 農家の人たちの協力



風沙さん

私は、今日とっても楽しかったです。
もち米ができるまで約4か月もかかりますが、時々いねの様子を見に行きたいと思

稲 田植えをして



高石 聡さん

田に入ったときは、なんだこれ、と思っていただけ、後から少しずつ慣れてきて、だんだん楽しくなってきました。
いねを植えたときは、ちゃんと立つかなーと思いながらやりました。やるうちに少しずつ慣れてきて、いねのたば